

6. 北陸（地域別調査機関：（財）北陸経済研究所）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良く なっている やや良く なっている	-	-	-
		一般小売店〔書籍〕（従業員）	来客数の動き	・8月は来客数が増えており、客の買い控え傾向が弱まっているように見える。
		コンビニ（経営者）	販売量の動き	・今月もたばこを買う客が多かった。さらに飲料の売上も好調であった。
		コンビニ（経営者）	来客数の動き	・タスポカード効果により、たばこを店頭で買う客が増加し、他の商品のついで買いも続いている。
		コンビニ（経営者）	販売量の動き	・お盆までの猛暑により、飲料やアイスが好調であった。また引き続きタスポ効果によるたばこの売上も貢献し、全体では売上が前年比115%、来客数が同120%と好調であった。反面、客単価は前年を下回り、客が必要な物しか買わない傾向はますます強くなっている。
		コンビニ（店長）	販売量の動き	・お盆前は非常に好調であった。お盆明けから急激にしぶんだが、1か月全体では前年並みとなった。
		スナック（経営者）	来客数の動き	・8月の売上は好調だった前年の9割であるが、接待による来客数が多かったため例年よりやや良かった。
	住宅販売会社（経営者）	お客様の様子	・問い合わせが多く、見込み客数が増加している。	
	変わらない	一般小売店〔精肉〕（店長）	単価の動き	・当店が入居するビルへの来客数は多いが、当店への来店頻度は少ない。
		百貨店（営業担当）	来客数の動き	・残暑がまだ厳しいことに加え、大雨による水害の復旧も進まないなかで、客の購買意欲はなかなか上がらない。また、来客数も少ないまま推移している。
		百貨店（売場担当）	単価の動き	・販売量に大きな変化はない。
		スーパー（店長）	単価の動き	・8月の旧盆セールでは地元の特産ギフトなどが売れているが、一品単価が前年に比べ低下している。
		その他専門店〔ガソリンスタンド〕（経営者）	単価の動き	・高騰するガソリン価格をユーザーへ転嫁することは至難である。
		その他専門店〔医薬品〕（営業担当）	販売量の動き	・来客数は前年比1.5%減、買上点数は同1.5%増である。猛暑の影響で飲料が売れ、売上は同2.0%増加しているが、この伸びは3か月間変わっていない。
高級レストラン（スタッフ）		販売量の動き	・ポイントカードの顧客に大量のDMを発送し、7、8月はポイントの2倍押し、8、9月はたまったポイントの2倍取りの販促を行った結果、今月の来客数は何とか前年並みとなった。しかし、販促ポイント分の単価は下がり、売上は例年を若干下回っている。	
一般レストラン（店長）	来客数の動き	・回転ずしの一部のメニューで値上げをしたが、来客数にほとんど影響はない。		
一般レストラン（スタッフ）	来客数の動き	・販売促進が功を奏し、オリンピック期間を除けば、来客数は前年並みであった。ガソリン高の影響か、駅・ショッピングセンターの近隣は好調だが、郊外は低調に推移している。		
観光型旅館（経営者）	来客数の動き	・ガソリン価格の高騰や物価の値上がりにより、夏休み期間の集客を心配したが、リーズナブルな商品を中心に取りそろえた結果、例年並みに終えた。		
観光型旅館（スタッフ）	来客数の動き	・8月の総売上は前年比108.3%、宿泊人数は同106.7%、宿泊単価は同103.1%と好調を維持している。		
都市型ホテル（スタッフ）	来客数の動き	・宿泊客、レストラン利用客の増加はあったが、宴会場の客が減少している。例年、夏場の宴会場利用は他の月に比べ少ないが、今年は特に目立つ。また、原油価格高騰による費用増加の影響で収支は厳しい。		
通信会社（営業担当）	販売量の動き	・携帯電話の販売量の動きに変動がない。		
通信会社（役員）	販売量の動き	・8月は北京オリンピックの競技映像が多く流れたこともあり、デジタル放送への関心が高まり、結果としてケーブルテレビの新規申込及びデジタル放送への切替えも順調に推移した。		

	通信会社（営業担当）	販売量の動き	・来客数は前年に比べ約2割増加しているが、端末価格を見て購入せずに帰る客が増えてきた。この結果、料金プランの見直し、故障診断等、携帯電話を長く使用することを前提とした手続きが増えており、販売台数は来客数の増加に比例しない。
	競輪場（職員）	単価の動き	・競輪の開催日数が少なかった3か月前と比較すると、売上は大幅に増加しているが、1人当たりの車券購入額では変わらない。
	その他レジャー施設（職員）	単価の動き	・8月の前半は猛暑の影響で来客数が増加し、飲料の売上は上がったが、客単価は下落している。お盆以降は気温が下がったこともあり、来客数は減少している。
	美容室（経営者）	来客数の動き	・美容業界でほぼ慢性的に来客数が減少している。
	住宅販売会社（従業員）	来客数の動き	・今年の8月は例年と異なり、客の動きが鈍い。
やや悪くなっている	商店街（代表者）	お客様の様子	・客の節約ムードがどの店でも漂っている。夏物セールの終盤でも盛り上がりには欠けた。
	商店街（代表者）	お客様の様子	・客は外食を控える傾向が強い。食品スーパーは売上を維持しているようだが、その他の小売店の売上は厳しい。車の通行量も一時よりは回復したが、中心街では利用率が前年の90%を割り込む駐車場も多く、車離れ、買物離れの傾向が一段と増している。
	一般小売店〔事務用品〕（営業担当）	販売量の動き	・販売量の減少に加え、販売単価も相当低下しており、利幅が取れない商売が多くなっている。
	百貨店（売場主任）	来客数の動き	・朝夕の来客数が極端に減少しており、客は必要のない物は単価が安くても購入に踏み切らない。また、ガソリンが高騰して以来、バスによる来客数が増加傾向にあり、駐車券の発行が少なくなっている。
	スーパー（総務担当）	来客数の動き	・ガソリン高騰のため、郊外型の店舗を中心に来客数が減少しており、この動きは今後も続く。
	スーパー（営業担当）	単価の動き	・客はガソリン価格高騰や食品の値上げなどに慣れたとはいえ、生活防衛に走っている。特売品や目玉商品に対する関心は従来以上に高く、メモ書きを持参して購入する客の姿が多く見られる。このため、特売品の販売数量が増加し、単価が低下している。
	スーパー（副店長）	単価の動き	・来客数は前年比92%、客単価は同99%である。
	衣料品専門店（経営者）	来客数の動き	・例年の8月はお盆の帰省客の来店が多いが、今年は少なかった。
	家電量販店（経営者）	販売量の動き	・北京オリンピックが終了し、好調に推移してきたテレビの売上も低調になった。エアコンは前年8月が異常に売れたため、今月は大幅な前年割れとなった。他の商品は相変わらず不振である。
	乗用車販売店（総務担当）	販売量の動き	・受注状況は前年比で90%を割り込む状況である。値上げが予定されている商用車では堅調な受注であるが、乗用車は苦戦している。ガソリン高騰の影響は予想以上に厳しい。
	乗用車販売店（経理担当）	販売量の動き	・燃料代や諸物価の上昇に加え、先行きへの不透明感が消費者の節約意識を助長し、高額車への購買意欲に水を差している。一方、経済性に優れ、燃費の良い小型車やハイブリッド車へのシフトが進んでいる。
	乗用車販売店（営業担当）	来客数の動き	・来場者数は、悪かった前年と比較しても15%減少している。
	乗用車販売店（経理担当）	販売量の動き	・ガソリン価格高騰の影響から車が買い控えとなり、販売台数は前年同月比で大きく減少した。
	都市型ホテル（スタッフ）	販売量の動き	・宿泊等の売上は前年比、前月比共に減少している。
	旅行代理店（従業員）	販売量の動き	・原油高の影響で海外旅行が激減している。海外旅行や国内旅行に行かず、自宅のテレビで北京オリンピックを見た人が多く、売上は一昨年並みである。
	旅行代理店（従業員）	来客数の動き	・個人消費が特に海外旅行で落ちているが、8月5日以降に旧盆期間の海外・国内旅行の申込が増加した。直前になってからの申込が目立つ。
タクシー運転手	販売量の動き	・今年は運賃の値上げを実施したにもかかわらず、前年に比べ他社を含め売上が減少している。	
パチンコ店（店員）	お客様の様子	・客の滞在時間、使用金額が減った。	

		住宅販売会社 (従業員)	お客様の様子	・客との契約条件が厳しくなっており、また契約までの期間が延びている。
		住宅販売会社 (従業員)	それ以外	・住宅新築物件の受注状況は、あまり良くなかった前年をもやや下回って推移している。加えて、収益面で住宅保証制度、瑕疵(かし)担保責任の変更などで保険料の増加が見込まれる。販売競争が激しく、価格転嫁のめどが立たない。
悪く なっている	商店街(代表者)		販売量の動き	・7月下旬のセール明けから、来客数、売上共に悪くなっている。客の財布は確実に固く閉ざされている。
	百貨店(営業担当)		お客様の様子	・秋の行楽、スポーツ、ブライダルなど、いずれの購入動機でも、必要な物以外は買わず、今持っている物で間に合うという客が多い。バーゲン品でさえも、もっと安くならないかという声が聞かれ、客の生活防衛意識は根強い。
	百貨店(営業担当)		お客様の様子	・雨が降った20日過ぎから、秋物商材が少しずつ動き出したが、単品でしか売れず、単価アップにつながらない。
	スーパー(店長)		単価の動き	・政治の先行き不安感や原油・原材料の高騰による物価の上昇が景気の悪化に拍車を掛けている。
	衣料品専門店(経営者)		販売量の動き	・8月の売行きは例年悪いが、さらに客からは買い控えや無駄な出費をしないという態度が見られる。夏物衣料は安い物でもあまり売れなかった。
	家電量販店(店長)		来客数の動き	・来客数の減少が目立つ。以前は遠方からの来店もあったが、ガソリンの値上げや生活防衛のためか、最近では近郊の客ばかりである。
	乗用車販売店(経営者)		お客様の様子	・客は高騰の続くガソリン価格の影響だけでなく、不況への移行を懸念して買い控えている。高級車、高価格車の中で特に2500cc以上は壊滅的である。
	自動車備品販売店(従業員)		販売量の動き	・生活必需品等の値上げにより、客の購買意欲はますます低下している。仕方なく購入する商品でも、客は値段を第一に考えている。
	住関連専門店(店長)		お客様の様子	・店舗改装のための処分セールには、多くの客が目ぼしいものを探しているが、お買い得感のない物は、なかなか売れない。更なる値引きの要求がきつく、現状は厳しい。
	その他専門店[酒](経営者)		販売量の動き	・例年の「ニッパチ(2月8月)」よりもはるかに悪かった。今まではコンスタントであった大吟醸などの高い酒もあまり売れない。
	タクシー運転手		お客様の様子	・週末にはある程度の客が乗るが、平日の人出は少なく、売上の落ち込みが大きい。客から「給与が上がらないのに諸物価の高騰で小遣いが減ったため、飲食街へのタクシー利用回数を少なくし、その場合も安いタクシーにする」という話がよく聞かれる。
	テーマパーク(職員)		来客数の動き	・建設業界などの法人や団体の旅行の動きが鈍く、団体募集ツアーの集客では前年比1割以上の減少となっている。個人では一部でやや好転の兆しもあるが、全体としては悪化している。
		住宅販売会社(従業員)	来客数の動き	・常設を含め各展示場の来場客数が大幅に減少している。
企業 動向 関連	良く なっている	-	-	-
	やや良く なっている	税理士(所長)	受注量や販売量の動き	・原油高を始め、これまでの不安定要素が大体出尽くした感があり、企業の生産活動や設備投資が再開される手ごたえがある。商品価格の面だけが心配であるが、全体の動きは良い。
	変わらない	繊維工業(経営者)	受注量や販売量の動き	・相変わらず受注が決まらず、数量的に前年に比べ大幅減少の状況が続いている。
		プラスチック製品製造業(企画担当)	受注量や販売量の動き	・相変わらず受注量が増えず、工場の稼働率も7~8割の状況が続いている。
		金融業(融資担当)	取引先の様子	・大型倒産や河川はんらんの災害が発生するなど、景況感が悪化するなかで、取引先は様子見の状態である。
やや悪く なっている	食料品製造業(企画担当)	受注量や販売量の動き	・原材料費高騰に伴う値上げ実施の影響もあり、売上が約1割減少している。同業各社でも荷動きが85~95%と鈍くなっている。また、付加価値の高い商材から廉価品に移行しており、数量的な落ち込みは少ないが、売上高、粗利益共に減少している。	

		一般機械器具製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・工作機械業界全体でも受注量が下降気味である。当社も海外、国内共に受注が減ってきている。
		電気機械器具製造業（経理担当）	取引先の様子	・輸出向け携帯電話の部品の生産量がかなり減少している。
		精密機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・特に眼鏡の国内商品における受注量は減少傾向にある。さらに国内大手小売チェーンの対前年実績もかなり落ち込んでいる。
		輸送業（配車担当）	取引先の様子	・原油価格の高騰による各商品の値上がりに伴い、消費者の買い控えが起きており、物量が停滞している。
		通信業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・電話機の需要が引き続き低迷している。
		不動産業（経営者）	受注量や販売量の動き	・同業者の情報では不動産の動きがまだ見えない。
		新聞販売店〔広告〕（従業員）	受注量や販売量の動き	・今月も売上は前年に比べマイナスである。首都圏の代理店、県内のクライアントもマイナス傾向であり、この状況がまだ続く。
		司法書士	取引先の様子	・会社の解散、事業廃止、破産申立て等の事件が多い。
	悪くなっている	繊維工業（経営者）	受注量や販売量の動き	・衣料の中でも特に婦人物の落ち込みが激しい。
		建設業（経営者）	取引先の様子	・今月も取引先が自己破産し、不良債権が発生した。また入金が滞っている業者の要望で5年間の分割返済を了承したが、それすら遅れがちで、毎月、確認の電話をかけている。資金繰りの苦しい業者ばかりである。
		建設業（総務担当）	それ以外	・マンション販売の不振により、不動産業者の建設計画の中止が相次ぎ、受注環境が大幅に悪化してきた。
雇用 関連	良くなっている	-	-	-
	やや良くなっている	-	-	-
	変わらない	民間職業紹介機関（経営者）	求人数の動き	・新規派遣や人材紹介の依頼数が少ない。派遣も「とりあえず短期間」という依頼が多い。
		学校〔大学〕（就職担当）	求人数の動き	・例年より採用内定が早まっている。
	やや悪くなっている	人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・引き続き、求人件数が減っている。内容も人材の質を問われるため、なかなかマッチングができない。
		人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・求人数は前年同期比で約2割減少しており、同業他社でも前年比減少の先が多い。
		求人情報誌製作会社（編集者）	求人数の動き	・発行1回当たりで60件ほど求人企業が減っている。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	求人数の動き	・求人広告の出稿量は前年の6割程度である。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	雇用形態の様子	・人材派遣業の求人広告件数が横ばいであるのに対し、正規採用件数では減少が見られる。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・新規求人数が5か月連続で前年に比べ減少している。原油・原材料価格の高騰や景気悪化による個人消費の低迷により、製造業、飲食店、宿泊業、サービス業などでの減少が目立つ。
	悪くなっている	-	-	-